



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 永大化工株式会社

コード番号 7877 URL <http://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大野裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 浦 義則

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,926	△1.1	153	93.5	185	115.0	146	71.8
28年3月期第3四半期	4,980	7.2	79	△40.6	86	△52.9	85	△50.1

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 35百万円 (△60.8%) 28年3月期第3四半期 89百万円 (△61.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	23.11	—
28年3月期第3四半期	13.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
29年3月期第3四半期	7,992		6,188	77.4		977.23		
28年3月期	7,931		6,203	78.2		979.60		

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 6,188百万円 28年3月期 6,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,770	1.1	170	147.6	190	366.9	150	474.9	23.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	7,300,000 株	28年3月期	7,300,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	967,658 株	28年3月期	967,021 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	6,332,707 株	28年3月期3Q	6,333,774 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策等を背景に雇用環境および企業収益は緩やかな回復基調が続いております。一方で、英国のEU離脱による世界経済への影響や中国をはじめとした新興国・資源国の海外経済の鈍化、米国新政権による政策の不確実性など、景気を下押しするリスクも存在しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、国内外の積極的な営業展開を進めるとともに、コスト競争力のある生産調達ルートの確立と生産効率の向上を図り、収益体質の強化に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、主力事業の自動車用フロアマットの売上が第1四半期は低調に推移したものの、第2四半期以降において好調に推移した結果、売上高4,926百万円（前年同期比1.1%減）となりました。一方利益面につきましては、第2四半期以降の売上の増加および為替の効果等もあり、営業利益153百万円（前年同期比93.5%増）となりました。また、英国のEU離脱決定後の急激な円高進行から米国大統領選挙の結果を機に一転して円安へ向かったことから、保有している外貨建債権債務の期末換算替えによる為替差益を計上し、経常利益185百万円（前年同期比115.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益146百万円（前年同期比71.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 自動車用品関連

自動車用品関連につきましては、国内自動車販売は、第1四半期は昨年の軽自動車税増税および熊本地震の影響などにより販売数の減少となりましたが、第2四半期以降は、一部車種に受注の持ち直しが見られ、各自動車メーカーの新型車発売による効果などもあり、当社OEMフロアマットの受注についても第2四半期以降は好調に推移したことから、売上高3,612百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益98百万円（前年同期比77.7%増）となりました。

② 産業資材関連

産業資材関連につきましては、半導体向けのマガジンスティックの需要増加に伴い売上が好調に推移したこと、下水道補修用部材についても順調な受注を獲得していることから、売上高1,314百万円（前年同期比1.2%増）営業利益54百万円（前年同期比130.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産の部>

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は7,992百万円となり、前連結会計年度末と比較して60百万円の増加となりました。

流動資産の合計は5,041百万円となり、前連結会計年度末と比較して151百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加182百万円、受取手形及び売掛金の減少57百万円、未収入金の増加15百万円によるものであります。

固定資産の合計は2,951百万円となり、前連結会計年度末と比較して90百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の減少92百万円、無形固定資産の減少44百万円、投資その他の資産の増加46百万円によるものであります。

<負債の部>

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は1,804百万円となり、前連結会計年度末と比較して76百万円の増加となりました。

流動負債の合計は1,360百万円となり、前連結会計年度末と比較して139百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少125百万円、電子記録債務の増加278百万円、未払法人税等の増加29百万円、その他の減少42百万円によるものであります。

固定負債の合計は443百万円となり、前連結会計年度末と比較して62百万円の減少となりました。その主な要因は、役員退職慰労引当金の減少44百万円、退職給付に係る負債の減少17百万円によるものであります。

<純資産の部>

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は6,188百万円となり、前連結会計年度末と比較して15百万円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加95百万円、その他有価証券評価差額金の増加16百万円、繰延ヘッジ損益の増加28百万円、為替換算調整勘定の減少168百万円、退職給付に係る調整累計額12百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想については、平成28年5月13日に公表しました、通期の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年2月9日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,774,281	1,957,172
受取手形及び売掛金	1,498,573	1,441,541
商品及び製品	702,246	707,565
仕掛品	117,972	125,589
原材料及び貯蔵品	645,079	629,577
繰延税金資産	53,995	52,655
未収入金	56,314	71,946
その他	41,219	55,127
流動資産合計	4,889,680	5,041,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	644,272	588,118
土地	1,544,809	1,544,809
その他(純額)	357,792	321,247
有形固定資産合計	2,546,873	2,454,175
無形固定資産		
土地使用権	216,878	176,642
その他	16,246	11,973
無形固定資産合計	233,124	188,616
投資その他の資産		
投資その他の資産	261,656	308,330
投資その他の資産合計	261,656	308,330
固定資産合計	3,041,654	2,951,122
資産合計	7,931,334	7,992,297
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,137	382,546
電子記録債務	414,869	693,349
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	16,800	16,800
未払法人税等	3,537	32,554
賞与引当金	48,414	48,313
その他	179,362	137,046
流動負債合計	1,221,121	1,360,610
固定負債		
長期借入金	24,800	12,200
繰延税金負債	6,262	19,493
再評価に係る繰延税金負債	272,160	272,160
役員退職慰労引当金	75,368	31,264
退職給付に係る負債	125,708	107,874
その他	2,135	510
固定負債合計	506,434	443,503
負債合計	1,727,555	1,804,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,203,754
利益剰余金	3,402,416	3,498,128
自己株式	△236,772	△236,933
株主資本合計	5,611,098	5,706,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,133	19,904
繰延ヘッジ損益	△21,606	7,078
土地再評価差額金	486,072	486,072
為替換算調整勘定	200,641	31,941
退職給付に係る調整累計額	△75,560	△63,462
その他の包括利益累計額合計	592,681	481,534
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,203,779	6,188,183
負債純資産合計	7,931,334	7,992,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	4,980,015	4,926,911
売上原価	3,825,972	3,736,009
売上総利益	1,154,042	1,190,902
販売費及び一般管理費	1,074,960	1,037,896
営業利益	79,082	153,005
営業外収益		
受取利息	751	283
受取配当金	2,002	2,309
為替差益	—	23,513
受取賃貸料	2,638	3,333
その他	4,731	6,714
営業外収益合計	10,124	36,153
営業外費用		
支払利息	849	631
為替差損	1,165	—
賃貸費用	666	898
その他	297	2,213
営業外費用合計	2,978	3,743
経常利益	86,227	185,415
特別利益		
固定資産売却益	296	944
投資有価証券売却益	—	394
特別利益合計	296	1,338
特別損失		
固定資産処分損	0	55
投資有価証券評価損	164	—
特別損失合計	164	55
税金等調整前四半期純利益	86,359	186,699
法人税、住民税及び事業税	6,846	28,290
法人税等調整額	△5,697	12,034
法人税等合計	1,149	40,324
四半期純利益	85,210	146,375
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	85,210	146,375

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	85,210	146,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,485	16,770
繰延ヘッジ損益	△1,699	28,684
為替換算調整勘定	△11,960	△168,699
退職給付に係る調整額	5,804	12,097
その他の包括利益合計	4,629	△111,146
四半期包括利益	89,839	35,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,839	35,228
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,681,092	1,298,923	4,980,015
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,681,092	1,298,923	4,980,015
セグメント利益	55,663	23,419	79,082

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,612,438	1,314,473	4,926,911
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,612,438	1,314,473	4,926,911
セグメント利益	98,921	54,084	153,005

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。